

青梅街道歩道拡幅・雨水排水改善、道路舗装工事 (第4期工事)の開始

2020年07月31日

青梅街道の標題改良工事は、平成27年度から第1期工事が大和市駅北側四丁目交差点から北側方向に開始され、昨年度までに第3期まで終了し、本年度は今般入札が落札され第4期工事が開始される事になりました。以下関連事項を纏めましたのでご覧ください。

1, 第4期工事の詳細

(1) 入札公示内容

本情報の入札内容はインターネットの「東京都 電子入札情報サービス」上で公表されておりますので、そこより入手しました。

(a) 工事主要仕様

以下の通りです。

履行場所	東京都東大和市中央二丁目地内から同市中央四丁目地内まで
主要地方道	新宿青梅線(第5号)青梅街道
工事概要	施行延長 L=280.0m
車道施工幅員	W=7.00m
道路打換工(低騒音舗装部)	A=1609m ²
2 道路打換工(密粒度舗装部)	A= 311m ²
歩道舗装工(透水性舗装部)	A= 797m ²
歩道舗装工(乗入れ部)	A= 209m ²
現場打ち街きょエプロン工	L= 44.3m
管渠型側溝	L= 467.3m
管理樹	N=15箇所
街渠用集水樹	N= 3箇所
集水樹	N=1箇所
横断函渠	L=16.8m
歩車道境界ブロック105型一般部	L=345.9m
歩車道境界ブロック105型歩行者横断部	L=69.8m
歩車道境界ブロック105-1型車乗入れ部	L=76.6m
境石工	L=473.1m
ガードパイプ	L=17.0m
区画線設置工	1式
工期	契約確定の日の翌日から235日間

工事開始予定日情報は未入手ですが上記工期から類推して、令和2年度中には完工予定と推測致します。

(b) 工事業者；成友工業株式会社

(c) 落札価格：¥114,180千

(d) 履行場所；中央二丁目／中央通りの青梅街道との交差点～中央4丁目地区内交差点(りそな銀行)

(e) 電柱の民地移動；今回は実施致しません、この為西側歩道の車道側に今迄で通り電柱が設置されます。

(f) 街路灯；東京都の道路標準規定により設置

2 主要改善の説明

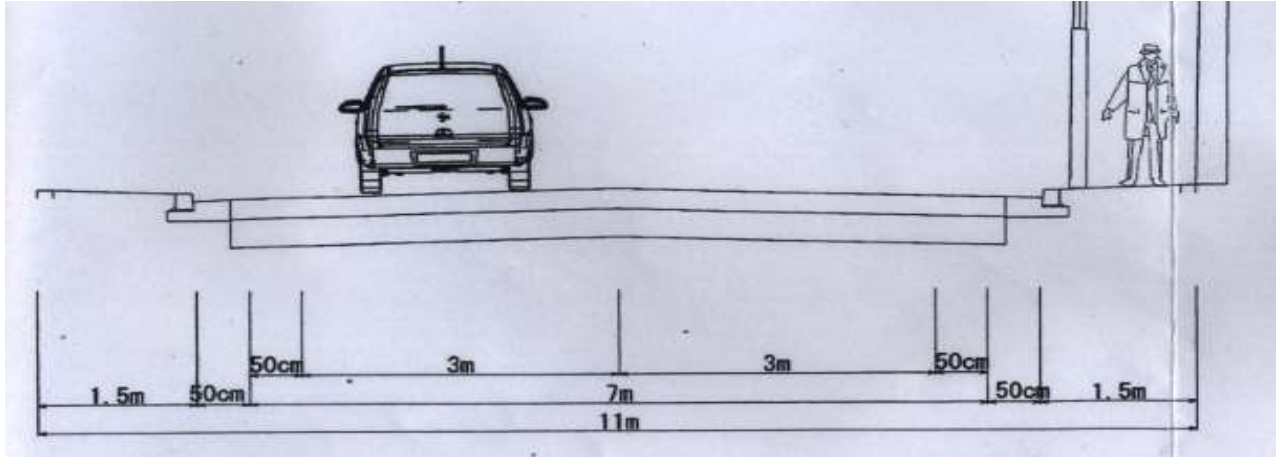
(1) 歩道の拡幅改善

今回の工事で、歩道幅を1.5m～2.0mに拡幅致します。

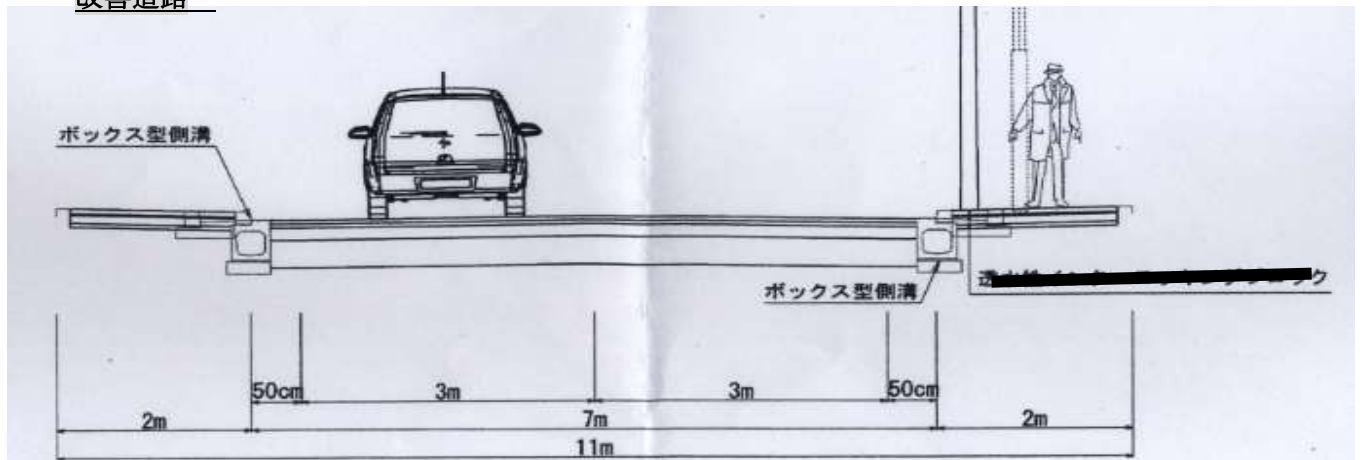
道路の全体幅は同一ですが、両脇の歩道を各々50cm拡幅しその分車道は片側50cm狭められますが、第1期～第3期の工事後の道路運用状況から車道幅の変更で車の往来に問題の発生は全くありません。

一方歩道が50cm拡幅された事により、歩行者の歩道通行が飛躍的に向上しました。

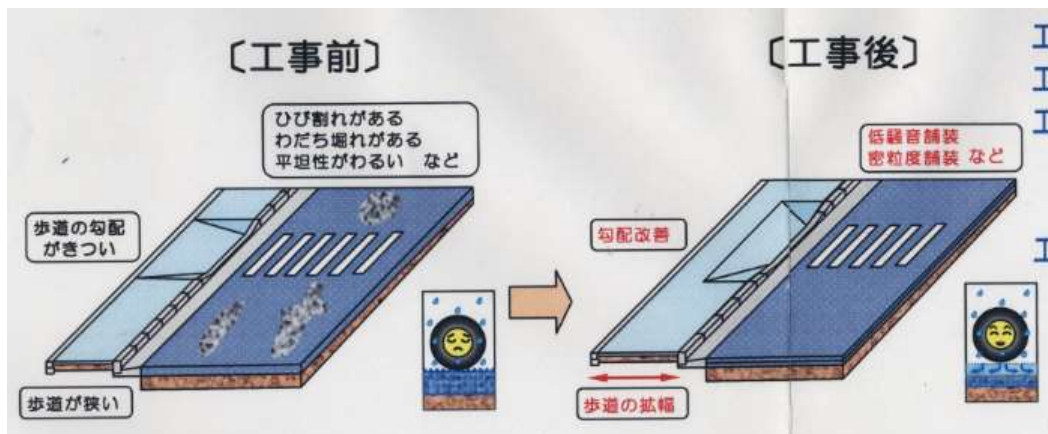
現状道路



改善道路



(2) その他改善内容



- (a) 雨水対策；ボックス型速攻の採用
- (b) 歩道の傾斜改善
- (c) 車道；低騒音舗装
- (d) 歩道；浸透性アスファルト舗装(東大和市駅～東大和病院館はインターロック仕様になっておりますが、残念ながらこの区間はアスファルト舗装になります)
- (e) 具体的な工区の場所
下図の通りです。



3. 第1期～第3期工事の概要

(1) 工事日程

- (a) 第1期；平成27年度、区間；東大和市駅北側4丁目交差点～南街交番
- (b) 第2期；平成28年度、区間；南街交番～東大和病院
- (c) 第3期；平成30年度、区間；東大和病院～中央通り交差点

(2) 主要仕様

道路幅、歩道幅、側溝仕様；第1期～第4期まで基本的に同一。

(3) 電柱の民地設置区間

第1期～第3期の区間迄(この移設は平成元年度～2年度で移設済み)

これにより歩道には電柱が設置されていないため、歩行者は歩道を有効に使用する事は出来る。

(4) 街路灯

大和通り共栄会で設置(平成元年に既設置分を破棄して、新規に設置)

南街交番付近の状況(昼間/夜間)



(5) 歩道のインターロック設置

第1期～第二期の東大和市駅交差点から東大和病院迄に限定去された区間のみの設置となっている。第3期以降はアスファルト舗装となっているが、今後インターロックの設置変更運動は継続して活動したい。

4. 将来に向けた目標

本道路(青梅街道)は東大和市駅から奈良橋交差点まで東大和市の中心部の通っている東大和市の背骨と言える道路で、東大和市の今後の発展する上で重要な道路と考えます。この為本道路改良事業は今度奈良橋交差点まで、是非延伸させたいもので、市民関係者が今後とも継続して改善運動を進めてゆきたいものです。

青梅街道歩道拡幅・雨水排水改善、 道路舗装工事および将来に向かって

H27.10.6 作成

